

# 私の“押し”

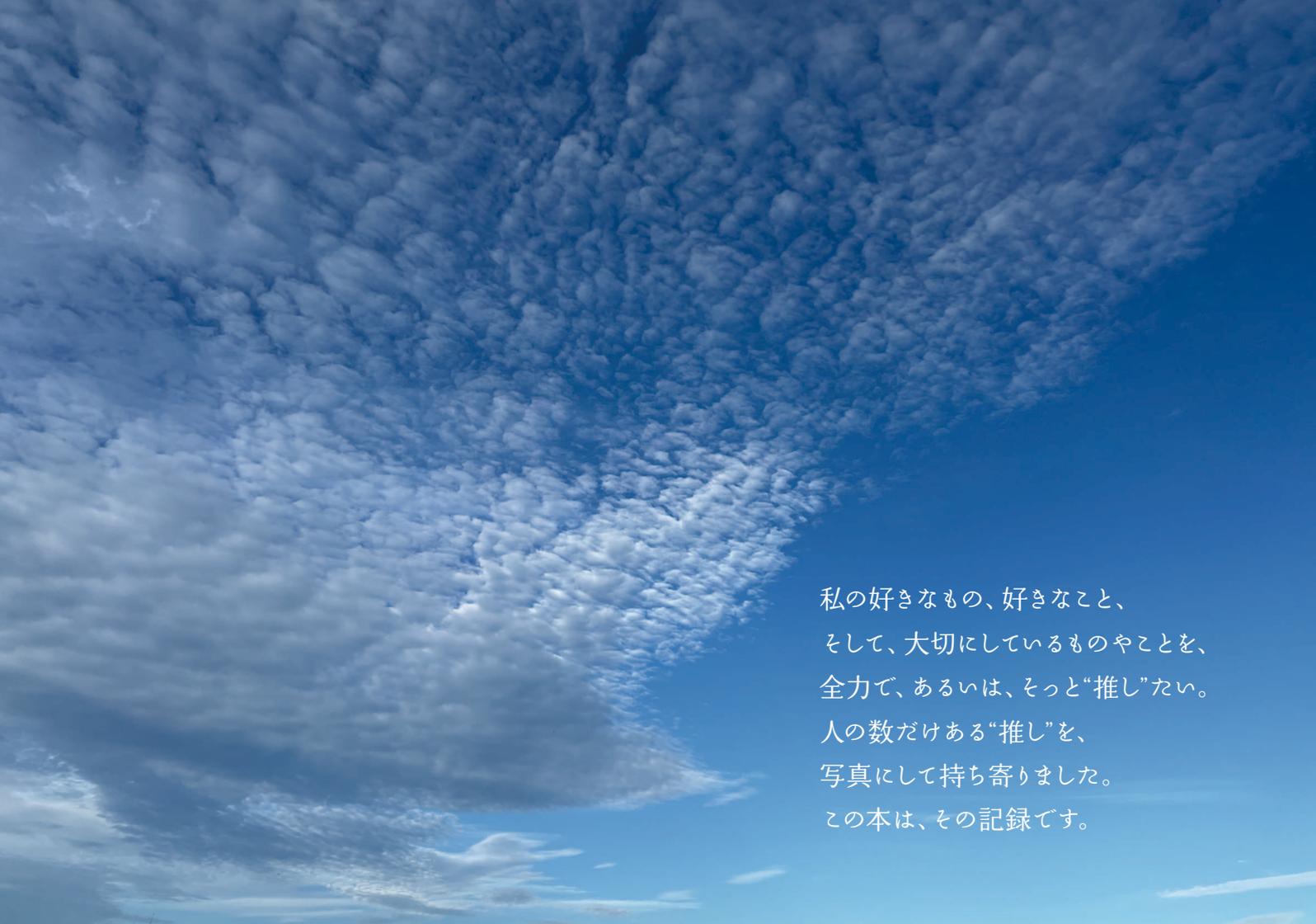
—みんなが誰かに推されてる—

My love and favorite things are called “OSHI”.

SapporoPhoto 2024

レポートブック/公募参加型写真展 作品集

Report / Open call exhibition Photography Book



私の好きなもの、好きなこと、  
そして、大切にしているものやことを、  
全力で、あるいは、そっと“推し”たい。  
人の数だけある“推し”を、  
写真にして持ち寄りました。  
この本は、その記録です。

開拓の当初より当時の最新技術であった写真を公式記録手段とし、写真家のみならず多くの市民の手で都市発展の姿が克明に記録・蓄積されてきた世界的にも稀有な大都市である札幌。その歴史と資産を現代・未来に活かすとともに、カメラを手にするすべての人を主役とする「写真の祭り」として地域の写真文化発展に寄与することをめざして2015年にスタートした[SapporoPhoto]は、地域の皆さまと一緒に毎年秋～冬にかけて開催を続け、パンデミックが世界を覆った時期も中断することなく、2024年、10回目を迎えることができました。

自分の意思で、好きなものやことを発見し、好きで居続け、誰かにもその想いを共有したいと思うこと、それを“推し”、“推す”というのかも知れません。すっかり馴染み深い表現となった“推し”をキーワードに、皆さまの大切にしているものやことを写真で持ち寄る場を作りたいと考えました。

[SapporoPhoto]では、2017年の第3回から公募展を継続しています。お寄せいただいた写真の一枚一枚に、お一人おひとりが実感した“今”が、しっかりと写されています。時代の記録としての写真の力がここにはあります。その意義を、写真とも関わりの深い建築史研究の視点から語っていただくトークイベントも実施しました。また今回、5年ぶりに「こども写真教室」をひらくことができました。次の世代と時代へ、写真を通してこの街への想いを継承していきたいと願っています。

振り返れば、私たちは[SapporoPhoto]を通じてこの10年間の札幌・北海道を、暮らしの中の身近なところで一緒に記録し、共有し続けてくることができたと思っています。ここまでこの趣旨に賛同し、ご参加くださった全ての皆さまに心からお礼を申し上げます。

ますます変わり続けていく私たちの街、社会、世界、そして文化を、これからも一緒に、写真で記録し共有し続け、より良い未来を創造していきたいと思えます。





# 私の“推し”

—みんなが誰かに推されてる。

My love and favorite things are called “OSHI”.

Sapporo**Photo** 2024

公募参加型写真展 作品集

Open call exhibition Photography Book

## あなたの“推し”、写真で全力で教えてください。

“推し”という言葉・概念が、すっかりおなじみのものになりました。

自分の好きなものを、好きだと言う。それって、とても楽しいこと。

“推し”は大きくても小さくても、人でもモノでもお店でも場所でも、なんだっていい。

そんな私の“好き”を大切にできる、自由に表現できることほど幸せなものは、そうそうない。

そういうことに、今、たくさんの人々が改めて気付き始めています。

大きな声で、あるいはそっと、一枚の写真でああなたの“推し”を全力で教えてください。

……この呼びかけに、46名の皆さんから、46の“推し”をお寄せいただきました。

2024年で10回目の開催を迎えた[SapporoPhoto]が2017年から続けている公募参加型写真展に開催地の札幌のみならず北海道内外の皆さんからお寄せいただいた作品は、その瞬間だから撮れることが集まって見えてくる、今の景色です。

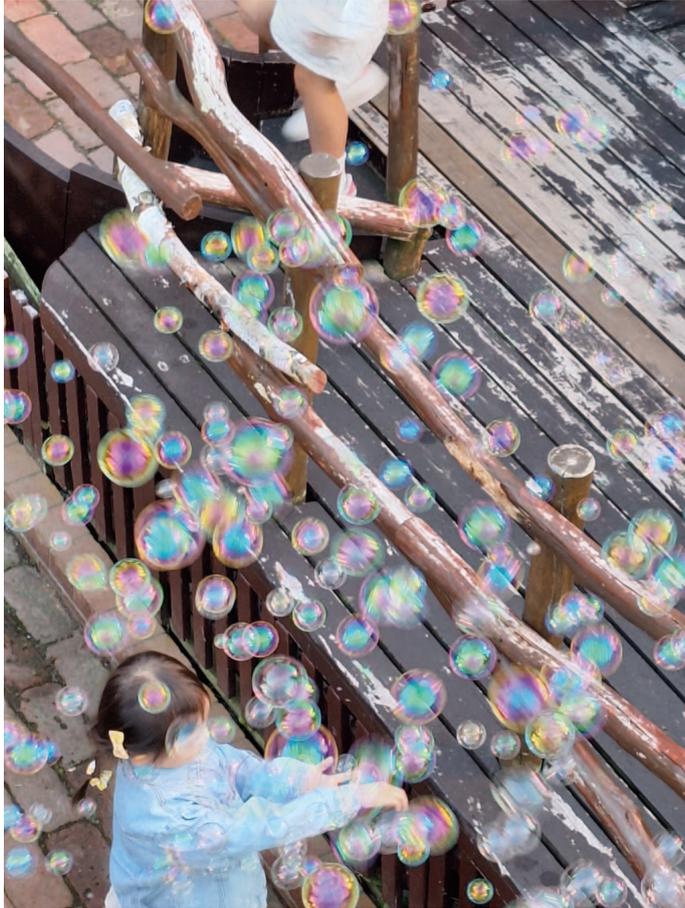
それは、お一人おひとりの“推し”であると思います。

全ては、“好き”から、“推し”から始まります。

あなただけが好きなものでも、ファンがいっぱいいるものでも、『あなた』の好きなものを大切に。

その気持ちを形にして伝えられるツールのひとつが写真であつたら、とてもうれしいです。

- 作品のタイトル、キャプション(コメント)は句読点・改行の修正、明らかな誤字修正を除いて原文のままとしています
- ウェブ版では、ご応募者さまの意向により掲載を差し控えていただいている作品がございます。何卒ご了承ください



## チョコ推し

高橋 由幸 (40代)

お菓子の国へようこそ!  
シャボン玉もいっぱい!

## フィルムカメラ推し

鈴木文隆 (千歳市/50代)

今年から始めたフィルムカメラ、クラシックなフォルムが気に入り購入しました。

私の推しのオリンパスペンEESです。





## 地酒推し

辻博希(帯広市/50代/写真家)

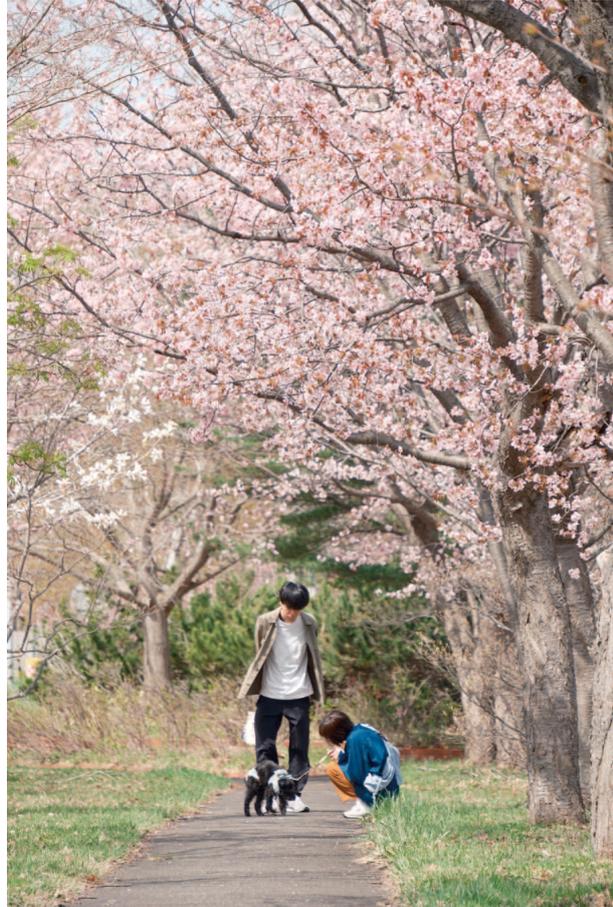
上川大雪酒造の緑丘蔵でしか買えない、さらに夏限定の酒! フルーティーで微発泡、暑い夏にキンキンに冷やしても香りが高くてすいすい呑まざるヤバいやつ。(笑) 北海道の水で道産酒米を醸した酒は、道産子の私には妙に沁み入るものがある。

古くからある蔵も含め、北海道の地酒が今熱い!

## 最後の推し

のご (札幌市/50代)

家族で桜の散歩をしたのは、これが最後でした。  
我が家の推し、そして最後の推し





## オーロラ推し

横山明日香 (札幌市/オーロラLOVE)

20年ほど前、カナダやアラスカでオーロラ撮影をしていましたが、いつかは北海道でオーロラ撮影をしてみたいと思っていました。

撮影日:2024年10月11日

## Buddy推し

Naaa SuW (札幌市/40代)

子供のころ学校から帰ってきた夕方、テレビをつけたら『仲良くケンカしな』と陽気な音楽とグレーのハチワレ猫と茶色い小ネズミが、ダイナマイトは飛ばすし家を壊すほどの激しいケンカをしていた。彼らは不死身。2025年で生誕85周年。全世界でみんなを楽しませ、今日もケンカをしているだろう。





## 北海道の火祭り「天狗の火渡り」推し

上村 孝幸

(札幌市/70代~/公益社団法人日本広告写真家協会会員・公益社団法人日本写真協会会員)

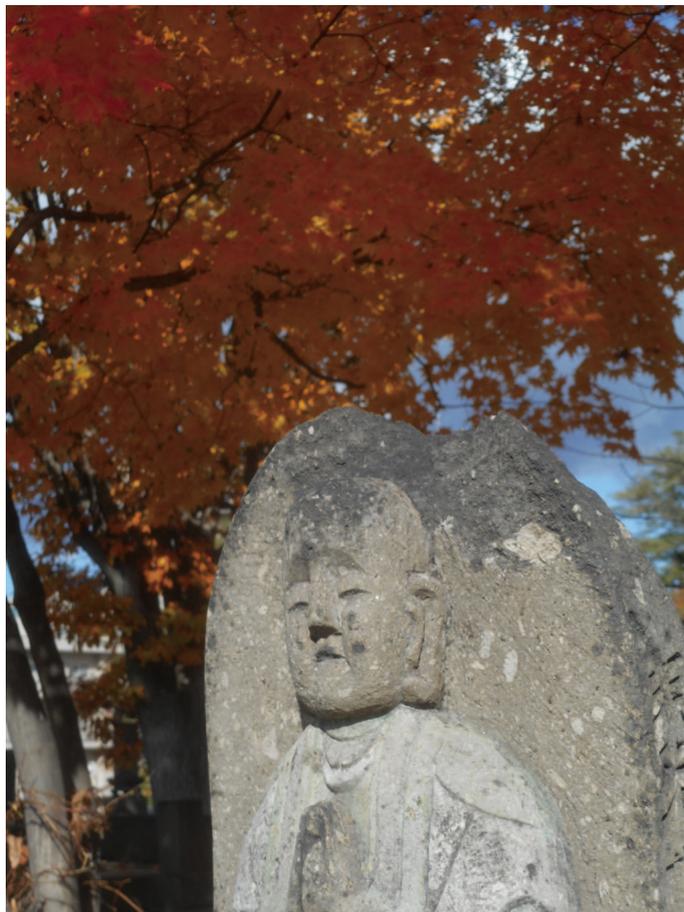
<燃え盛る炎の中を歩く、神々しい天狗の姿>

天狗は「猿田彦」と呼ばれる神様。神を導く神と言われ  
白髪と白髭を蓄えた面、一本歯の下駄で悠々と燃え盛  
る炎の中を進んで行く。炎に照らされキラリと光る黄金  
の瞳に心奪われる。

## お地蔵様推し

マック (60代/パート)

近所に開拓時代からの墓地があります。  
お墓のいくつかに幼子のお地蔵様が寄り添ってます。  
この子達は明治・大正・昭和・・・と、この地で時代の移り変わりを見つめてきました。と同時に、それぞれのお顔から親御さんの想いが伝わってきます。





## kinako推し

yasuhiro.niiyama (札幌市/50代)

心から愛する我が子のように推しています。

## AOAO SAPPORO推し

Sugi (50代)

札幌市中心部の都市型水族館、AOAO SAPPORO(ア  
オアオ サッポロ)。

大きな魚はいないけれど、予想外にすごく楽しめました。





## 蝦夷前寿司推し

高橋 幹夫 (札幌市/70代~/フリーフォトグラファー)

寿司は江戸前というが、冬に寿司を食うなら北海道!  
ネタは新鮮コメはうまい。酒もうまいし景色も最高。  
寿司を食うなら蝦夷前だっちゃんの!

## 古き北海道の息づかい推し

近藤マリア ルイーザ明子 (札幌市)

軟石に刻まれた模様、窓ガラスの揺らぎなどの手作業の痕跡を見ると、古い建物に温かみを感じる。

その場にいると、先人と時を共有しているかのような。





## 深夜ラジオ推し

伊藤 也寸志 (札幌市/30代/フォトグラファー)

2024年2月18日撮影

「オードリーのオールナイトニッポン in 東京ドーム」毎週楽しみにしているラジオ番組のイベントへ。特に深夜放送といえば一人もしくは内輪だけで楽しむイメージがあるが、全国から何万人も東京ドームに集まって一体で「内輪ネタ」を楽しむというのは新鮮な体験だった。

## 札幌名所推し

長谷川 丈生 (札幌市／50代／フリーランスフォトグラファー)

毎年ラベンダーで有名な札幌の名所、幌見峠。  
車いすでも訪れることが出来る名所を巡るのが密かな  
推しの私ですが、バリアフリーなところばかりではない  
のが現実です。





## 満月推し

せきちゃん (札幌市/40代/介護職)

毎月、満月の時には 天気の良い時には 空を見上げて  
ます。

毎月の満月には名前がありますよ☆

そして、自分の願い事を伝えています!!

## 士幌線第五音更川橋梁跡推し

太田 光弘 (札幌市/60代/会社員)

朽ちて自然に呑み込まれていく構造物。

橋桁はまるで緑の苗床のよう。

人が手をかけたものは、時間の前では一瞬のできごと。





## 子どもの見る世界推し

hiromi (札幌市/40代/幼稚園職員)

子どもが見ている世界は、既成概念がなく、自由で素直でいつも驚かされます。

「望遠鏡のつもり?お月様をつかまえたのかな?」と様々に想像できますが、この姿がただ愛おしく、子どもの豊かな感性をあたたく見守れる自分でありたいなと強く感じました。

## 自転車推し

山内 琴未 (札幌市/30代)

路面に大きく青く描かれた車の初心者マークみたいなもの。これは自転車ナビライン。自転車が通行する部分を示していますが、優先レーンではありません。自転車に優しい社会になって、専用レーンが整備されたら消えてしまうナビライン。推し光景だけど、いつか消えることを願っている。今だけの推し。





## 案内表示板押し

高橋 孝二 (札幌市/70代~)

小樽市銭函の街角の風景

## ゆらぎ推し

mai\_aoki (札幌市)

たいようのひかりと、ゆらぎ\*  
見ているだけで、沁みこむ癒し◎





## お花畑のトンボ推し

そうちゃん (札幌市/～10代/現代アーティスト)

お花畑にトンボがいるのがいいと思いました。

## 電車推し

れいちゃん (札幌市／～10代／現代アーティスト)

れいちゃんは電車が好き。

電車が通ると「みて!」って指差して、みんなに教えるよ。

地下鉄が発車すると手を振ってお見送りするよ。





## シメパフェ推し

関根 進 (札幌市/50代/地方公務員)

2015年に「札幌パフェ推進委員会」が発足して10年が経ち、冬でもアイスを食べるという北海道の文化、そして、飲み会の後はパフェでシメる(パフェる)という流れを一層広げて行きたい!

## ワイヤービーズ推し

bibi (札幌市/50代)

綺麗でビーズがかわいいワイヤリングです。





## 好きなことをする大切さ押し

るったん (札幌市/30代/暮らしのアーティスト)

何のために生きているのか。

楽しいことをする時間、安心安全の空間とつながりがあるだけで、私は生きてるって感じがするよ。

手作りのふわふわパンが出来上がり、

焼きたての香りに包まれながら、ふと感じた今朝です。

## 「推し」の趣味に興味を持つことで、 よりその人に近づきたい気持ち推し

渡辺 可緒理 (札幌市)

半年間ずっと聴いている乃紫。乃紫さん自身がカメラ好きでMVにフィルム写真がたくさん登場するので、私も二十代の頃撮影したフィルム写真のL判を集めました。

好きな人(推し)に興味を持っている事は自然と好きになりませんか？

「推し」の趣味に興味を持つことで、よりその人に近づきたい。





## 水出しアイス珈琲推し

ぼっぼさん (50代)

帯広の「GALLERY + SAKAN ミントカフェ」の絶品メニューです。

「水出しアイス珈琲」は一年中飲めるので、毎回注文します。「ムンクの叫び」の型で作った氷が入っていますが、いつも2個ですが稀に3個入ってます。

このページの作品は、ご応募者さまの意向により、会場およびレポートブック誌上でのみの展示・掲載とさせていただきます。  
ウェブ版には掲載を差し控えておりますことを、何卒ご了承ください。



## 石狩灯台推し

y\_manabee (石狩市)

石狩灯台の夕焼け、美しすぎて言葉が出ない。  
何度来ても飽きない場所。

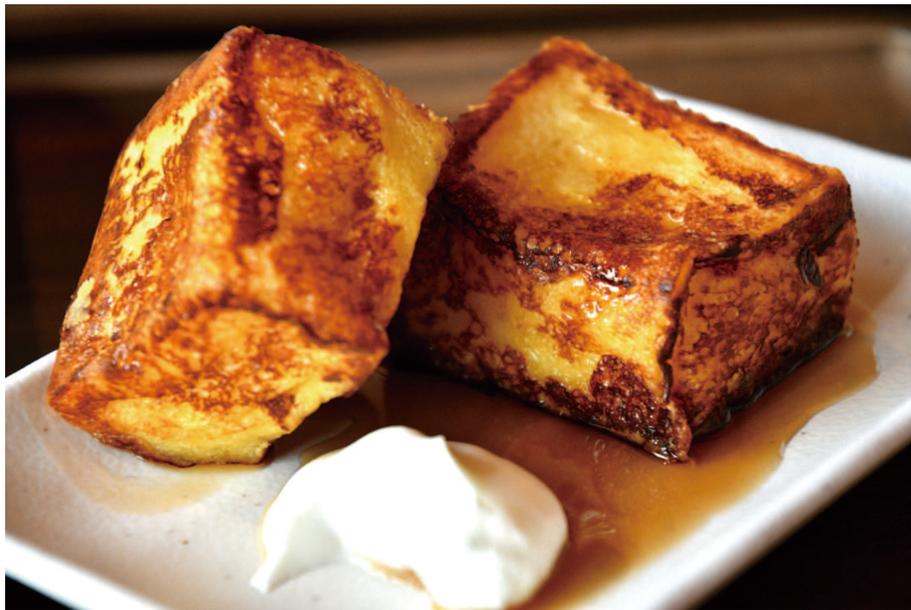
#石狩灯台 #夕陽ニスト #石狩灯台お兄さん

## フレンチトースト推し

松田 聡 (札幌市/50代)

子どものころからの大好物はコレ! 甘めの味付けでふわふわの焼き加減がたまりません。

フレンチトーストは別腹! フレンチトーストは飲み物!  
これは今まで食べた中でも別格の美味しさだった朝食の一品です。





## 魂のこもったLIVE推し

久保田 幸子 (札幌市/40代)

今年の夏、恵庭の道の駅で行われたフリーライブでの1枚。

シンガーソングライター千綿偉功さんを推し続けて30年。魂のこもったLIVEは心に響きます。

この日は綺麗な夕陽も相まって、感動的なステージでした。

## ミニバス推し

kumi (札幌市/40代/パート主婦)

昨年、末っ子が入団したミニバスチームの応援です。  
子どもたちが一生懸命プレーしている姿を、カメラに収めるのが私の役割。  
一人ひとりが、それぞれに個性を活かして成長している姿は、毎回胸が熱くなります。





## 旭川の味噌ラーメン推し

らいちゃん (札幌市/30代/写真家)

私の激推しラーメンは、旭川・緑が丘のソウルフード、「ふるき」の味噌ラーメンです。

濃厚なスープを絡めた麺と野菜が絶妙に美味!やみつきになります。

営業日時是要確認。待ち時間あります。午前中に行かないと売り切れるかも。

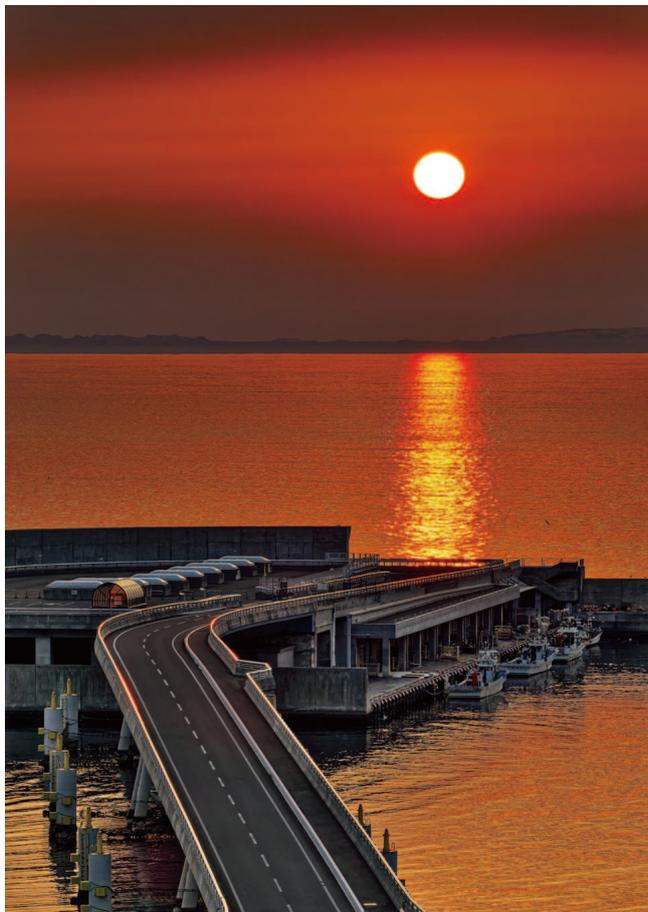
この世でいちばん美味しいラーメン、食べてみてね。

## 夏のサイクリング推し

イトウ タカヒト (札幌市/50代/会社員)

札幌近郊には、様々サイクリングロードがあります。  
夏の豊平川のサイクリングロードは、爽やかな景色が広がっています。





## 室蘭の夕陽推し

ARASE Muneyuki (室蘭市／50代)

私が住んでいる室蘭市は雄大な自然と工場が同居しており、実に様々な景色を望むことができます。その中でも私はバリエーションに富んだ美しい夕陽の風景が推しです。

写真は漁業施設のある人工島「Mランド」越しの夕陽です。

## 丘珠空港推し

ぶかち(札幌市)

コロナ禍で旅行が制限されていた頃、丘珠空港に通うことが癒でした。沢山の元気をくれた丘珠空港と飛行機たち。今も、丘珠空港の滑走路の周りの緑地帯を行ったり来たりしながら沢山の写真を撮り続けています。

撮っても、眺めても、乗っても楽しい飛行機。これからも私の1番の「推し」です。





## 函館推し

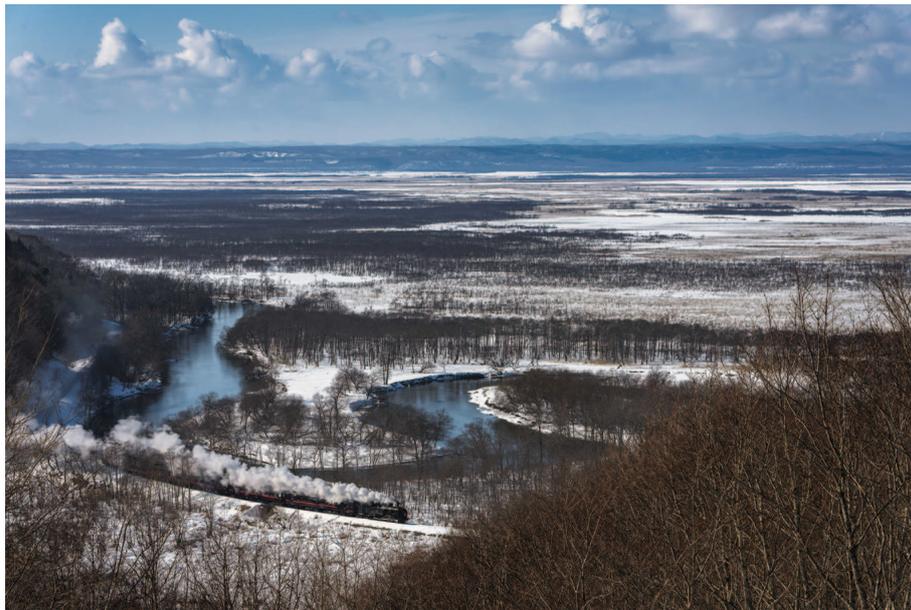
大高 稜平 (札幌市/30代)

絶景とグルメ、歴史が楽しめる函館が推しです

## SL推し

阿部 裕輔 (40代 / 写真家)

白銀の釧路湿原を力強く疾走する「SL冬の湿原号」。  
自然が織り成す美しさと人類が作った荒々しい文明の  
利器の組み合わせはどんな方も虜にする絶景に。  
後世にずっと残したいこの2つ。私にとって冬の北海道  
の推しです。





## 津軽海峡を渡ってきた車両推し

KOICHI (札幌市/50代)

津軽海峡を渡ってきた車両です。札幌⇄旭川間の特急では、初のグリーン車を備えています。

直線の多い区間ですが、カーブを颯爽と走るところを撮影しました。

## 日向坂46推し

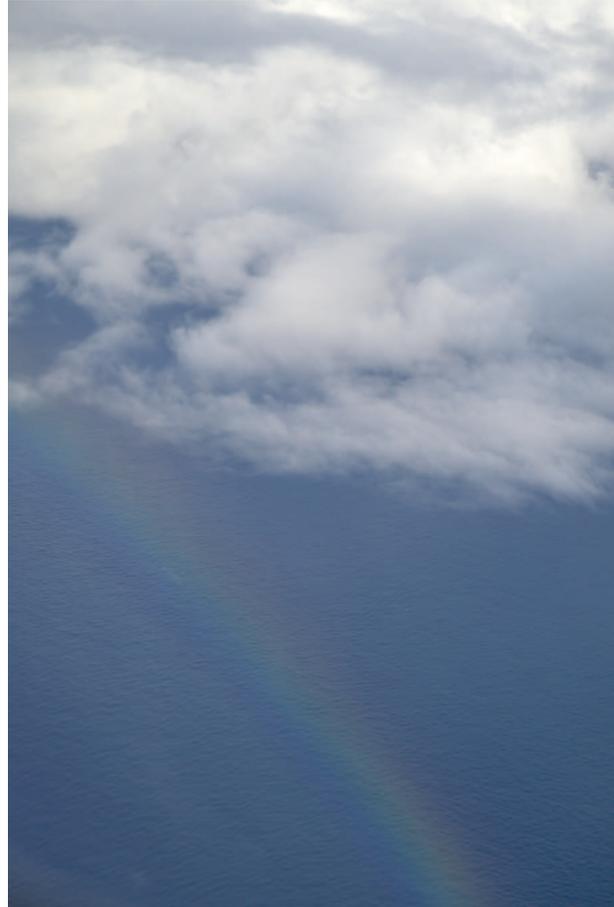
長谷川 規夫 (札幌市/40代/写真家・団体職員・大学生)

思いがけない機内からの虹。JOYFUL LOVEに包まれて、キュンとなった瞬間。

こんなに好きになっちゃっていいの？

アザトカワイイ君“たち”しか勝たん！

(24/09/09 「ひなたフェス」at宮崎 参戦からの帰路、  
JAL646便 鹿児島→東京/羽田 機内にて)





## キハ40とSAPPORO CLASSICと松田好花推し

衣斐 隆 (横浜市/40代/鉄道写真家)

引退が近い国鉄型気動車キハ40団体列車に揺られての汽車旅。

数が少なくなったSAPPORO CLASSICの瓶ビールを注いで、流れる車窓を眺める至福の時。

そして座席は主催者の計らいで同じ松田好花さん推しの方とまさか偶然の同席。推し揃いの一枚となった。

「宗谷本線秘境駅巡りの旅」より。

## スーパーカブ推し

ウリュウ ユウキ (札幌市/写真作家)

7年目で只今62,200km。最近はひとシーズン約1万km走る。リアタイヤも秋にはつるっつる。  
北は宗谷岬から南は阿蘇まで走らせてきた。行先と荷物は自分で決めるのが旅だと思っている。あとはひたすら、走るのだ。旅はその連続。  
自分の背中を前へ前へと「推し」続けてくれる、小さなバイク。





## 室蘭の夕景推し

with\_forester (室蘭市/50代)

室蘭の道の駅みたらで、爆焼けな夕景と凧な海を長秒露光で撮影しました。

## 雪遊び推し

中村 健太 (40代 / 写真家)

生活面では厄介者になることも多く楽しいばかりではないが、北海道で生まれ育った者としてやはり雪の無い冬は考えられない。

年々「これまでとは違う」気候変動を感じるが増えてきましたが、この子らが大人になり、次の、また次の世代になっても、楽しい雪遊びができる北海道であることを願いたい。





## ヒコーキ推し

安川 純一 (札幌市 / 50代 / 会社員)

この日は、キレイな夕焼けが広がって、移動中のヒコーキもオレンジ色になりました。

2024-10-13@東京国際空港

## 暁推し

浅田 裕美 (札幌市／50代)

暗い空にゆっくりと明かりを照らし陽の光が遠くの山から顔を出した時、始まりを感じます。  
この光を観ると悩みや苦しい時があっても必ず闇は開けると背を正し励まされる気持ちになります。



トークイベント

## 建築史研究と写真

2024年11月3日(日)

札幌文化芸術交流センター(SCARTS) ミーティングルーム

●講師：角幸博さん  
(北海道大学名誉教授／NPO法人歴史的地域資産研究機構[れきけん]代表理事)



明治21＝1888



明治19＝1886  
明治6年創業、明治7年丸舟のルン

[SapporoPhoto]では毎年、写真をより身近なものとしてより多くの方々に感じていただくことを願い、トークイベントを開催している。

今年は新たな切り口として、写真の持つ記録性を、私たちの暮らしにも密接に関わっている建築の歴史の中を探ることをテーマとした。歴史的建築の保存活用、アーカイブ化に取り組む専門家の角幸博さんをお迎えして、建築史研究の視点から豊富な資料・写真をお持ちいただいた。

角さんは大学の卒業論文の資料を求める中で写真の重要性を認識し、研究者

として、図面の残っていない建築物の古写真からの復元や、時代の流れの中で歴史的建築物の保存を求めつつ、諸事情により解体の道を選択した建築物を写真や図面で残す活動に取り組んできた。

建物がたとえ形を変え姿を消しても、その姿を後世に残すことができる――。角さんの長年にわたる活動の一端を、1時間ほどの短い時間ながらも縦横に語っていただいた中に、先人が写真に託した思いを受け取り、私たちもまた、写真に思いを託していくことができるのだということを改めて感じた。

## 一枚の写真からわかっていくこと

——角さんの当日のお話から

明治政府は北海道開拓の進捗を東京に報告するため、函館で開業した田本研造をはじめとした写真師に撮影を委嘱しました。北海道大学工学部建築工学科の卒業論文に『明治中期の札幌・函館の市街地建築の要素』を取り上げましたが、当時は大学紛争の真只中で図書館の資料が使えず、研究室にあった絵図と写真をもとに、どこまで正確に描かれているかの検証から始めたのです。例えば三井銀行や今井呉服店は詳細な写真が残っていて、細かい要素を洗い出していくうちにこの絵図が信憑性に足ると思いました。その時から写真の重要性を感じ、自分の中で確認しながらその後も研究してきました。

母校の助手になって初めて調査したのが小平町の花田家番屋です。旧家を守る三人兄弟が住んでいた家は屋根が落ちて中に雪が積もるような状態ですが小屋組がしっかりしていて、これを元に重要文化財になったことをきっかけに復元し現在の姿になりました。

また、北海道建築士会からの依頼で、北海道の古建築と街並みの写真集を作るお手伝いをしました。全道の図書館を大型のカメラを手に回り複写したのです。その中で江差町で見た写真の建物には「はね出し」という海岸から直接荷揚げできる構造が写っており、道路拡張でそれらが失われたことを知ります。現在に残っていれば世界遺産になったかもしれません。

札幌駅も旧駅舎とともに鉄道局や鉄道倶楽部という美しい建物がありましたが設計図が残っておらず、のちに写真を元に北海道開拓の村に駅舎が復元されました。

北海道に数々の作品を残した建築家・田上義也の代表作である旧小熊邸の藻岩山麓への移築にあたっては、失われていた照明器具を写真から復元することができました。一方で、同じく田上の作品でも保存運動をしたが残せなかったものがあり、この時新聞に「残念だ」と寄稿をしました。これに建物の

後継者から「自分も辛い、だが子どもたちは隣に新築した住宅で生活していたので、この住宅に思い入れはない。自分の代で家じまいしないと負の遺産になりかねない」と分厚いお手紙をいただいたのです。解体という選択の中にはそれぞれの方の苦難のストーリーがあるということを知りました。

大学では調査研究してきたものをファイリングしていますが、研究テーマが変わると捨てられかねない運命にあります。北大では代々の先生のファイルが受け継がれていますが、現在の学生がそれを検索したことがないと聞きショックを受けました。建築史研究室の資料はどこかに保存されないかという目を見ないことになるのではないかと考えています。

私の中では写真というものは建築史研究と切っても切れないものです。立面図を書く時も今は立体スキャナがありますが、昔は4×5のカメラにジッツォの三脚で写真を撮ったものです。私自身もカメラが好きで今も当時のものを研究室に置いてありますが、いずれは譲ってほしいなあと考えています。

今回の[SapporoPhoto]の公募展の写真を見て、皆さんの視点がおもしろかったです。“推し”というのは私の世代にはわかりにくい表現でしたが、姪っ子が最近“推し”を追って全国に行っているということで身近に感じるようになりました。日常のさりげないところ、自分の中で一番心通えるものが“推し”なんだと感じています。

私の建築の“推し”は豊平館。1881年(明治14年)の写真には開拓使のモデル建築のように立つ中、まだ周囲は石置き屋根。1956年(昭和31年)頃、中島公園への移築前の写真では隣でNHKの新築工事が進んでいます。

豊平館は図面が一枚も残っていませんでした。そこで研究室で私が中心になって図面を起こし、改修工事を行うことができました。1970年代から現在まで数度の改修にずっと携わり、長女の結婚式も私の退職祝いもここで行いました。ライトアップされた豊平館を見ると、我ながら「美しいな」と思います。

## こども写真教室2024

【教室】2024年10月6日(日)

●講師・阿部 裕輔・高橋 健介 (写真家/NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク 会員)

【展示】2024年10月19日(土)~11月8日(金)

●同時開催 “VISION OF PLACE” “THE NORTH FINDER” ポートランド展出品 スライドショー展示

ソニーストア 札幌 αPlaza ギャラリースペース

創造都市・札幌の未来を担う子どもたちに、表現することのおもしろさを感じてほしい……。[SapporoPhoto]のテーマの一つ、次世代教育の一環として小・中学生の参加のもとに開催してきた「こども写真教室」を5年ぶりに実施することができた。

今回は狸小路の再開発ビル・moyuk SAPPOROにある「ソニーストア 札幌」の協力をいただいて開催した。会場に集まった参加者のほとんどはスマートフォン以外のカメラを触るのが初めて。ここで一眼レフカメラに実際に触れて基本的な使い方のレクチャーを受けた後、大通公園に向かい撮影を行った。



プロの写真家からのアドバイスを受けながら、皆さんの感性とカメラの機能を存分に活かして撮影した写真から一人一枚を自身で選んでいただき、引き伸ばして店内のギャラリーで約3週間にわたって展示し、たくさんのお客さまにご覧いただいた。全作品を次ページでご紹介する。

また同時開催として、本展を主催している“THE NORTH FINDER”がこの春初の海外展として札幌の姉妹都市であるアメリカ・ポートランドの日本庭園で開催した写真展“VISION OF PLACE : Shashin: Photographic Frontiers of Hokkaido”の出品作品を、高精細の大型ディスプレイを用いてスライドショーによりご紹介した。



Mei KAMEDAYA



Momoko ABE



Yayoi ISHIZUKA



Saki OMURA



Seitaro SAITO



Tasuku SHOJI



Kanato SUZUKI



Nagisa SETO



Toma TAKAYA



Kotaro NAKAMIYA



Yumi NAMITA



Haruka MURATA



Ichihō YANAGIMOTO



Nao YOSHIDA



Rino YOSHIDA

## SapporoPhoto 2024 開催概要

### ■公募展・トーク会場

2024年11月1日(金)～4日(月・文化の日) 10:00～20:00 (最終日は18:00まで)  
札幌文化芸術交流センター(SCARTS) 2階 SCARTSモールC/ミーティングルーム  
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ内

### ■こども写真教室・“VISION OF PLACE”スライドショー会場

[教室]2024年10月6日(日) 11:00～14:00～  
[展示]2024年10月19日(土)～11月8日(金) 11:00～19:00 (最終日は16:00まで)  
ソニーストア 札幌 αPlaza ギャラリースペース  
札幌市中央区南2条西3丁目 moyuk SAPPORO(モユク サッポロ)3階

### ■公募展ウェブ展示

2024年11月1日(金)～2025年3月31日(月)  
[SapporoPhoto]公式ウェブサイト上

**主催** NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク

**協力** 北陽イーベン株式会社  
ソニーマーケティング株式会社 ソニーストア 札幌

**助成** [SapporoPhoto 2024]の各事業は、札幌市写真文化振興事業補助金を受け実施しました。

## SapporoPhoto 2024 レポートブック/ 公募参加型写真展『私の“推し”』作品集

**発行人** 中村健太

**編集人** 長谷川規夫

**記録撮影** ウリュウ ユウキ・中村健太・長谷川規夫

**デザイン** ウリュウ ユウキ(ウリュウ ユウキ 制作室[madokara])

### 発行

THE NORTH FINDER

NPO法人 北海道を発信する写真家ネットワーク

060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1-2 SE札幌ビル13階 (株)イメージナビ内

<https://northfinder.jp/> [info@northfinder.jp](mailto:info@northfinder.jp)

[SapporoPhoto]公式ウェブサイト <https://sapporophoto.northfinder.jp/>

**印刷所** 株式会社グラフィック

2025年3月発行

本誌掲載の作品写真の著作権は、各撮影者にあります。

本誌内容の無断転載をお断りいたします。

© 2024-2025

### THE NORTH FINDERについて

NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク"THE NORTH FINDER" は、写真を通して広く北海道のイメージを高め、より深く北海道を知ってもらおうと、北海道をベースに活動する写真家有志が中心となって設立したNPO法人です。

会員による写真展の開催や、企業との連携を通じた発信のほか、写真教育や写真資産の活用、市民の皆さんにご参加いただくイベントなどの各種事業を通じて、広く写真文化発展へ貢献することを目指して活動しています。

あたたかいご支援とご協力をよろしく願ひ申し上げます。

弊社人に関する詳しい情報は法人公式ウェブサイトでご確認ください。 <https://northfinder.jp/>



2024

